

事業所名

発達支援ルーム ティンカー・ベル

支援プログラム（児童発達支援）

作成日

2025 年

3 月

17 日

法人（事業所）理念		『信じる心を持てば、ティンカー・ベルの魔法の粉で空をとべる』 保護者と共に子どもの成長を信じて発達支援を行う					
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> ・ひとりひとりの力を伸ばし、インリアルアプローチの観点を活かして豊かなコミュニケーションを築く ・それぞれの子どもの特성에応じた発達・学習支援を行う ・保護者に対して適切な支援のあり方を助言する 					
営業時間		9 時	0 分から	18 時	0 分まで	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・健康状態、体調や機嫌などを利用時に保護者から聞き取り把握 ・生活リズム、睡眠、生活習慣の形成のため、アセスメントを丁寧に行う ・年齢に合わせた基本的な生活スキルの習得と向上に向け、家庭と協力して必要に応じた環境支援をする 					
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・あそびや活動を通して様々な感覚に刺激を与え、感覚が統合されるような環境を設定を行う ・サーキット、マット運動、色々な遊具や道具をを組み合わせた運動、感覚遊具を取り入れ、乳幼児期に必要な動きの確立と土台作り ・発達や年齢に合わせ目と手の協応力や五感に働きかけることができるよう、感触あそび、スキンシップあそび、手あそび、制作、音楽、簡単なクッキング、ワークを取り入れる 					
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・手順書、スケジュールなどの支援ツールを活用し、見通しを持つことや自己選択・自己決定できる経験につなげる ・認知の発達と行動の習得につながるよう、感覚を活用したあそびを行う ・環境や状況を把握したり理解したりするとともに、情報を的確に判断し行動できるよう支援する ・あそびのや活動の中で色、数、形、重さ、感触などの感覚を養い、数量、計算、重さ、空間、時間の概念形成の習得を行う 					
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが発信するジェスチャーや表情、指さし、声、言葉のサインに大人が適切に反応し、伝わった感覚を積み重ねていく ・話したい、伝えたい気持ちを受け止め、インリアルな観点より言語心理学的技法を使い大人が応えることでコミュニケーション意欲を高める ・子どものコミュニケーションの発達段階とあそびのレベルを理解し、よりよいコミュニケーションを目指す ・あそびや活動を通し多くのことばに触れ、物と名称、動作と言葉が一致する環境を考える ・あそびや活動の中で文字や記号、写真やイラストなどを使用し、相手の意図を理解したり自分の考えを伝えたりする手段を獲得 ・文字への興味関心を広げ、読み書き能力の向上に向け支援する 					
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者と一緒に参加することで、子どもも保護者も安心の場になり信頼関係を築く ・大人や友達と一緒に、あそびや活動を行うことで『一緒にできた』『たのしい』の経験が積み重なり、自発的な要求する力にしていく ・主体的にあそびに取り組み、『できた』『やった』と達成感や自己肯定感を持てるよう支援する ・集団で過ごすために大人や子ども同志の適切な声かけやことは違い、気持ちのコントロール、約束やルールの理解ができるようSSTを行う ・模倣行動につながる見立て、ふりあそび、つもりあそび、簡単なごっこあそびの環境設定を行う ・ごっこやルールのあるあそびを取り入れ、役割の交代や勝ち負けに対する気持ちの折り合いをつける経験につなげる 					
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> ・家族からの困り感、悩み、気づきなど利用時だけでなくいつでも話せる環境を作る ・子どもの状況や課題についての気づきを促し、家庭と協力して支援する ・保護者の不安がないよう、関係機関との連携による支援体制を構築する 			移行支援		<ul style="list-style-type: none"> ・保育園・幼稚園・学校などへの情報共有 ・児童発達支援センター、他児童発達支援事業所との連携 ・移行支援会議・カンファレンスへの参加 	
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・関係する児童発達支援事業所や相談支援事業所に様子を報告するなど情報共有し、密な連携を図る ・地域の療育支援会議に参加 			職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> ・発達特性の理解、支援の手立てについて研修会で学び専門性を高める ・支援の中での気づきや変化は日々職員間で共有し、支援の改善、事例検討を行う ・法人内での各種委員会の研修 	
主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> ・季節に合わせた活動、外出や調理活動を実施 ・保護者にはペアレントプログラムやインリアルアプローチを実施 ・保護者向け研修会の案内 						